

2011年度 無料低額診療事業

減免は前年から 3678日、1735万円増加

4月23日、近畿厚生局、京都府、京都市に無料低額診療事業の2011年度実績を届け法人税・地方税非課税証明を申請しました。

その減免実績は、延べ入院4606日、外来6万3953日で、1億4669万円の減免額でした。日数では中央病院、太子道診療所、上京診療所で前年から大きく増え3678日増加しました。減免額も増床した中央病院を主に1735万円増えました。減免額の平均は、入院で1日5102円、外来で1870円になります。

この無料低額診療事業



C O L U M N

福島から避難されている こどもの健診に参加して

3月18日、城南診療所で福島県から避難されている小児の健診が行われ、小児科スタッフとして参加してきました。7か月から15歳までの約50名が一般診療、心電図、甲状腺エコー、採血などを受けられました。

私は、採血を担当しましたが、そこで印象的であったのは、採血をうける児とそれを見守る親の反応でした。娘が採血されているのを見て、気分が悪くなった母親、採血される孫を抱きしめて涙を流す祖母…、それと対照的だったのは気丈に振る舞うこども達の様子でした。日頃、小児にかかわり、同じ様に採血をしています、それを考えるとこの位の歳の児なら大泣きしたり、大暴れしたりするのに…、この子達はなぜこんなに頑張るのだろうか？とさえ思える程でした。あの阪神大震災の時にも同じように感情を抑えようとする反応がこども達にみられたということです。こども達に以前のような笑顔が一日でも早く戻って欲しいと思いました。

吉祥院こども診療所
看護師長 平尾幸子

2011年度 CO₂ 排出量

前年比4.8%削減

当法人は、府市条例でエネルギーを大量使用する大規模法人として、排出量削減計画書の報告の適用を受けています。この取り組みは全事業所を対象で、年2回排出量集計を実施しています。

2011年度の結果は、化石燃料が50.6klで対前年4.2kl増、ガスは579.7トンで68.4トン減、電力は6059.8キロワットで76.7キロワット減となり、全体でCO₂の排出量は、3388トンとなりました。これは対前年のエネルギー使

用量を同基準で比較した場合、4.8%のCO₂削減となりました。月別では、7月までは前年と変わりませんが、8月以降前年使用量を下回り、ほぼ3月まで対前年を下回りました。一昨年は猛暑でしたが、昨年はそれほどでもなく、秋以降は事業所再編を反映していると思われる。引き続き、エネルギーの節約、取り分け

大きな比率を占める電力、脱原発の運動等々からも今年の夏は大規模エネルギー使用法人として真価が問われそうです。

第5期の介護保険料 大幅な値上げ

今年3年に一度の介護保険料見直しが行われました。

全国平均では812円(19.5%)引き上げで4972円となっています。保険料引き上げを抑えるために交付するとされた介護保険財政安定化基金取り崩し額は550億円で、一人当たり52円の効果しかありません。5千円を超える水準と言われていたのを、全国平均で何とか4千円台にしたという形です。

京都府では、すべての保険者で値上げとなりました。最高は精華町の5850円で、なんと1450円(33%)もの値上げです。和束町5667円(492円の値上げ)、京都市5440円(930円の値上げ)と続いています。京都府平均でも948円の値上げで、過去最高の22%の値上げとなっています。今回の保険料値上げは、払える保険料としての限界にきています。介護サービスの充実を求める運動と共に、介護保険料の引き下げを求める運動も重要です。